

第2回 北陸における空き家対策 に関する情報交換会



2015年春・北陸新幹線開業

金沢市都市整備局定住促進部
住宅政策課

まちなか空き家調査について



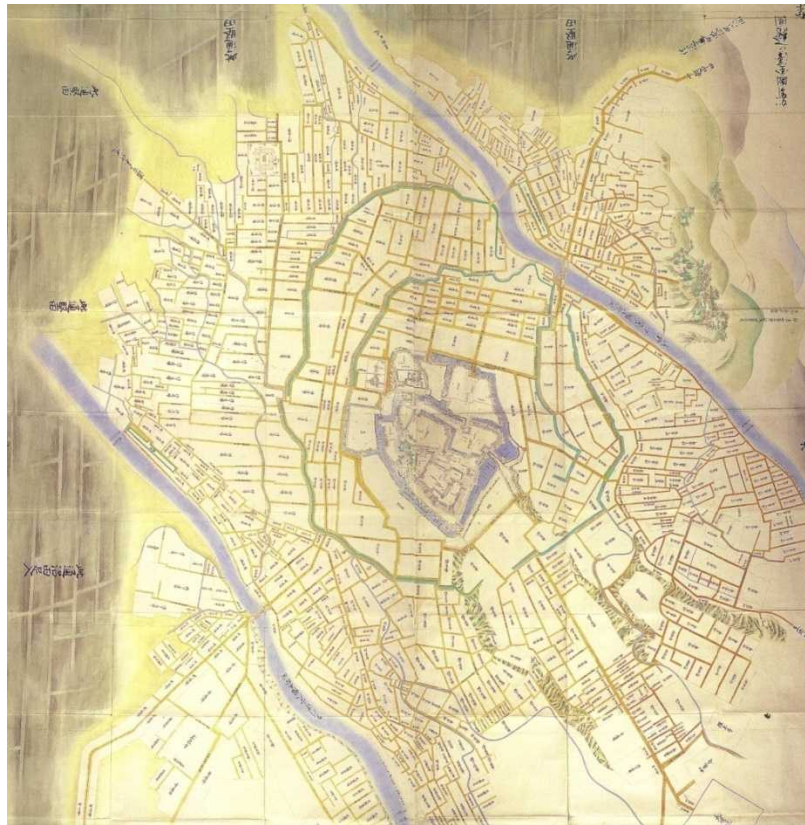
金沢市の概況

(住民基本台帳より 平成25年11月1日現在)

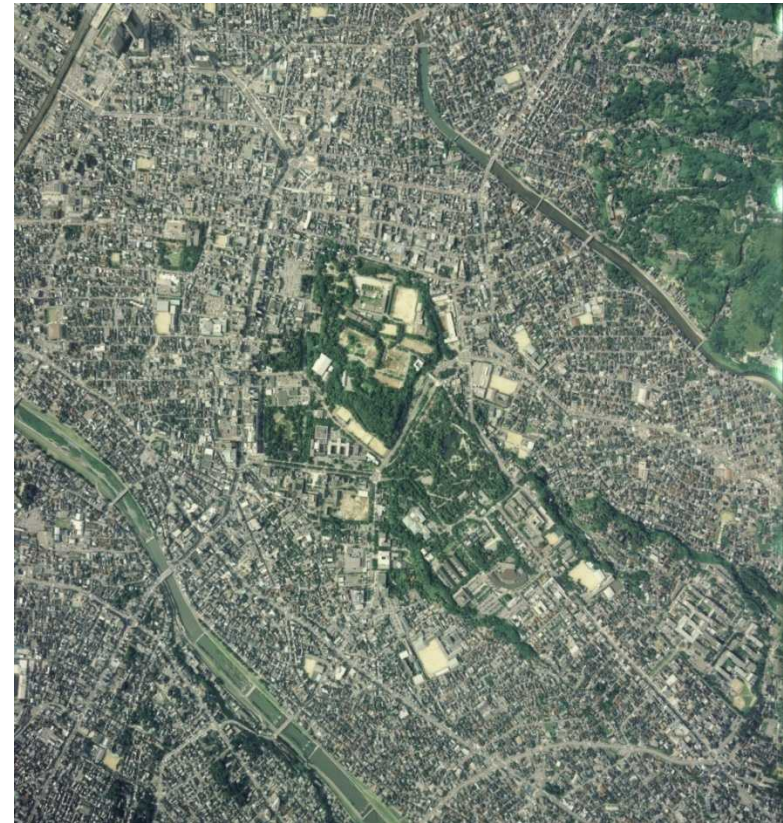


- ・ 人口 463,886人
- ・ 世帯数 196,543世帯
- ・ 面積 468.22 km²

金沢市中心部の絵図及び現在の写真

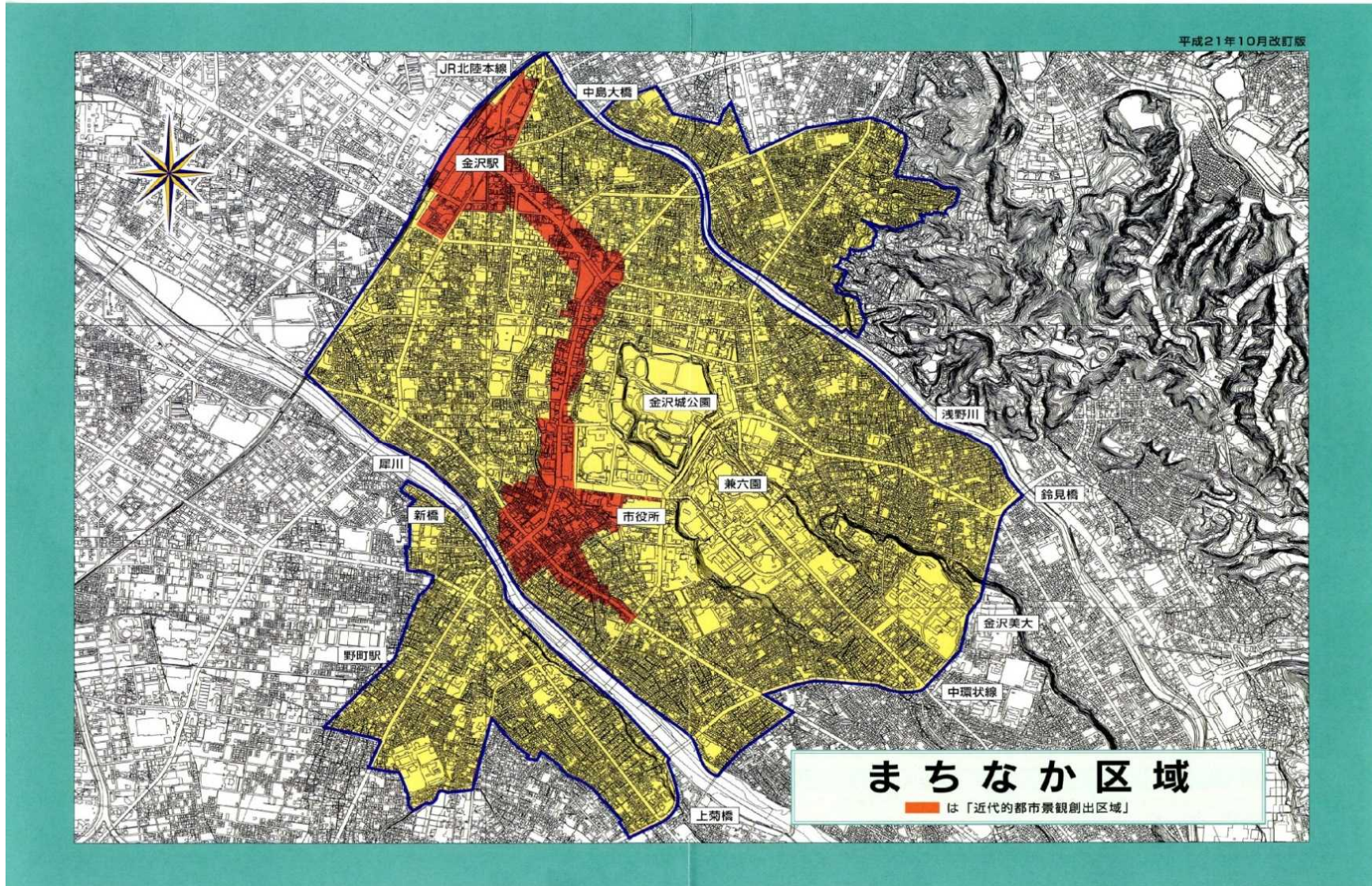


「藩政期の絵図」

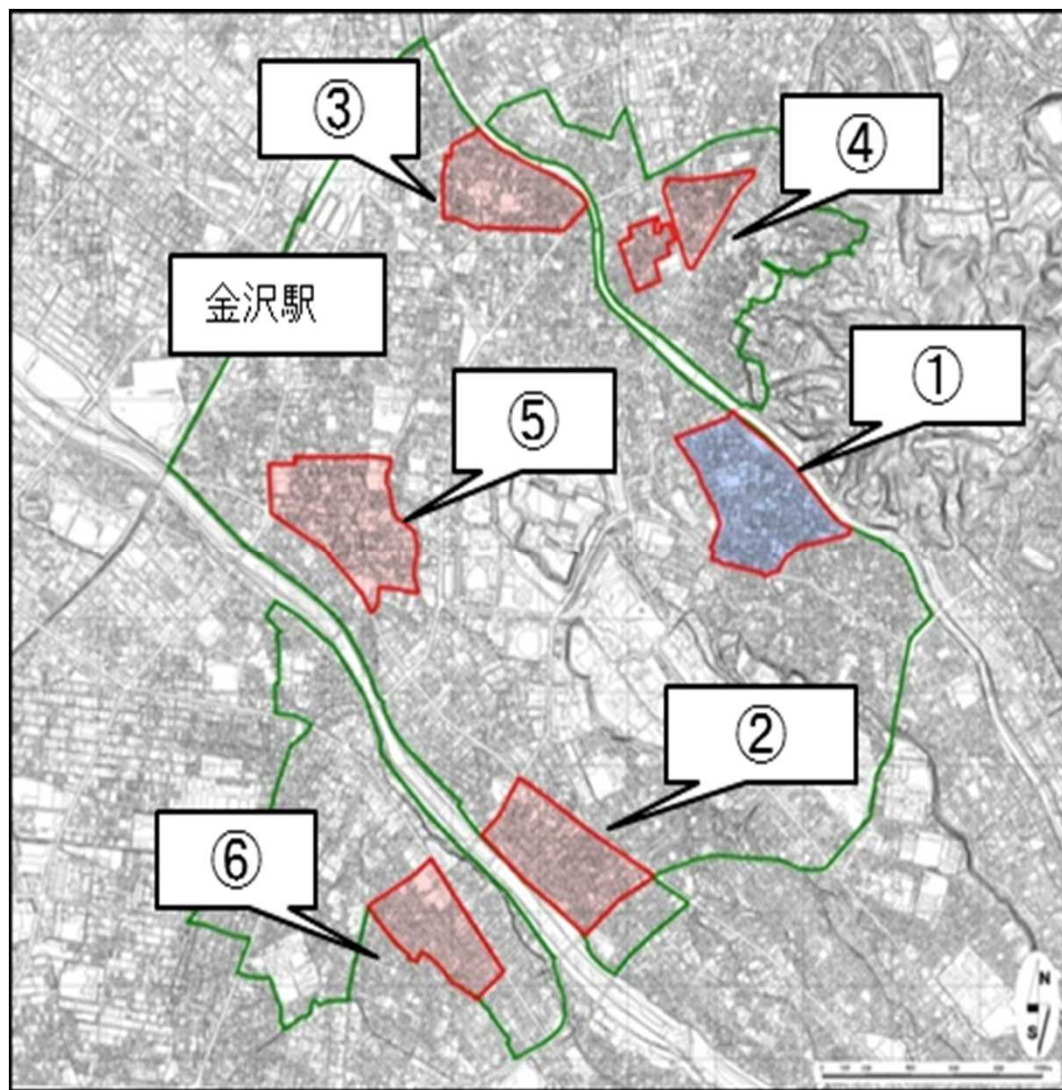


「現在の写真」

まちなか区域 (907ha)



調査対象区域



(調査時点 平成21年度)

地区名		面積
①	材木町・横山町地区	約27ha
②	幸町・菊川地区	約22ha
③	笠市町・瓢箪町地区	約18ha
④	東山・森山地区	約13ha
⑤	長町地区	約26ha
⑥	寺町地区	約16ha
合計		約122ha

↑
(まちなか区域907haの約13.5%)

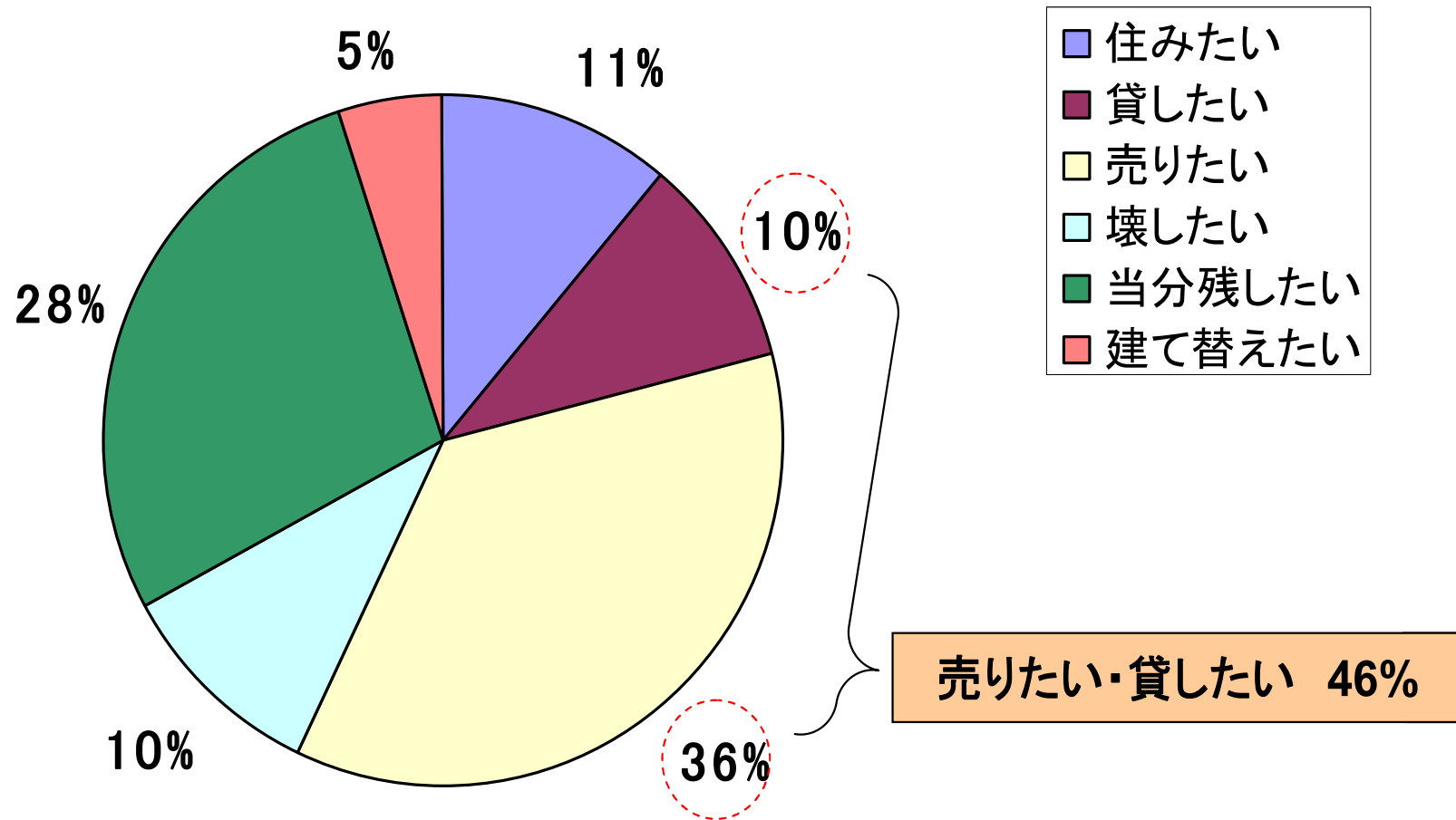
調査結果

地 区		空き家件数	全体件数	空き家率(%)
①	材木町・横山町地区	88	1,397	6.3
②	幸町・菊川地区	81	2,374	3.4
③	笠市町・瓢箪町地区	84	1,016	8.3
④	東山・森山地区	85	915	9.3
⑤	長町地区	60	1,076	5.6
⑥	寺町地区	43	812	5.3
合 計		441	7,590	5.8

まちなか区域の空き家戸数（推計）

- ・ まちなか区域における住宅明細図上の空き家戸数は1, 231戸
- ・ 今回の調査地区の住宅明細図と調査結果との差が約1.56倍
- ・ まちなか区域全体の実際の空き家戸数は、
1, 231戸×1.56≒約1, 900戸
- ・ 全体（約22, 000戸）の8.7%を占める

所有者アンケート結果

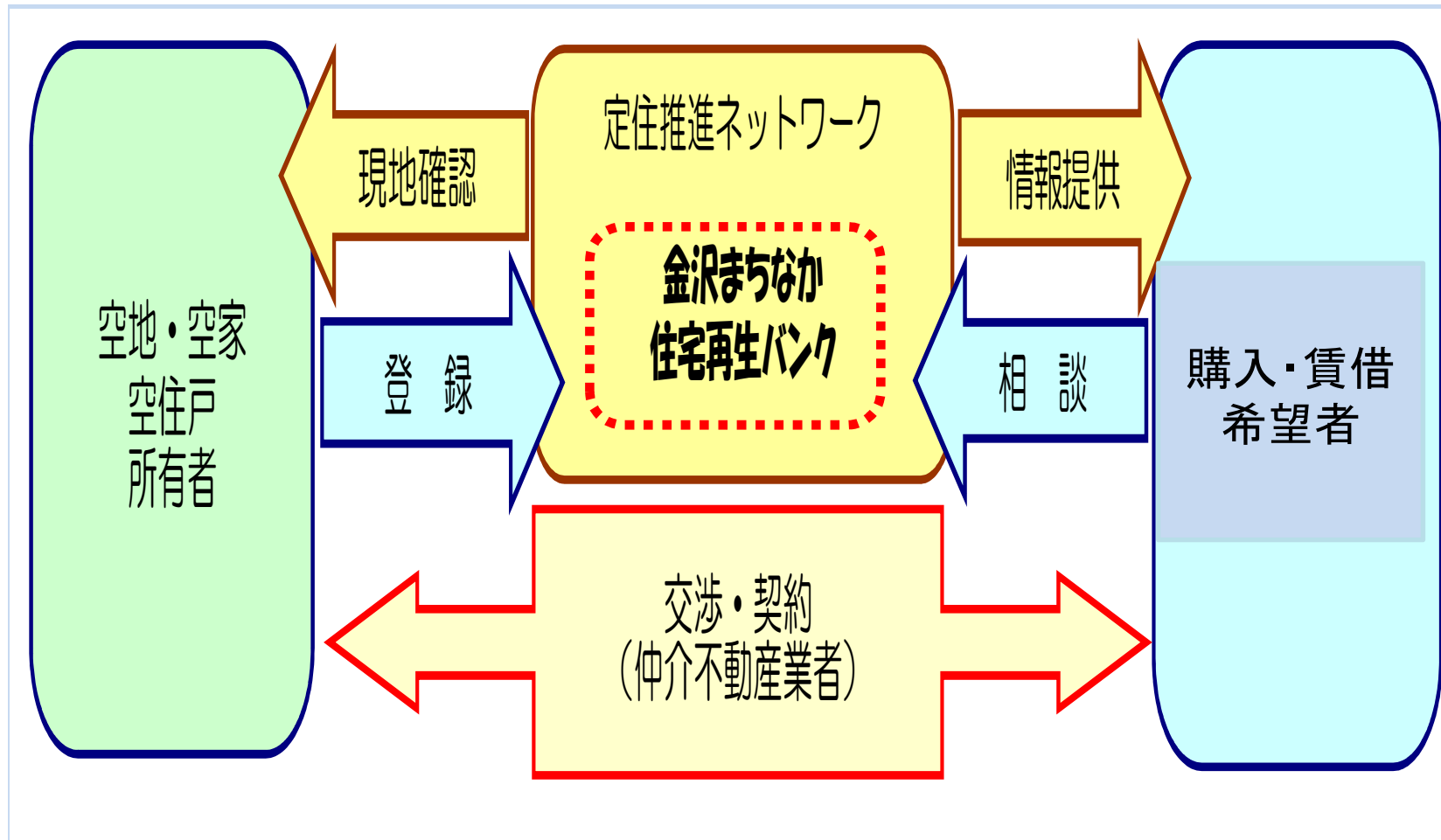


まちなか住宅再生バンクの創設



金沢まちなか住宅再生バンク

空地、空家等の活用促進に向けた取組み



バンクの利用実績（H25.10末現在）

種 類	空き家	空き住戸	空き地	合 計
登録数	64	65	71	200
成約数	57	59	52	168
成約率	89.06%	90.77%	73.24%	84.00%

注：平成22年7月から運用（空き住戸は23年6月から）

まちなか空家活用促進補助金

●内 容

昭和26年以降に建築された空家を購入し、自ら定住するものに対して、内部改修工事費を助成

補助率1/2(限度額50万円)

「加算制度」※上限額50万円

UJIターン世帯 工事費1/2 限度額20万円

45歳未満世帯 工事費1/2 限度額50万円

●対 象

- ・専用住宅及び併用住宅(住宅面積が1/2以上)
- ・売買契約後、自己所有し居住するもの

●基 準

- ・金沢まちなか住宅再生バンクに掲載した空家
- ・昭和56年5月31日以前に建築された建物は耐震診断、耐震設計、耐震改修を行うこと

まちなか中古分譲マンション改修費補助金

●内 容

昭和56年6月1日以降に建築された中古分譲マンションを購入し、自ら定住するものに対して、住戸内部の改修工事費を助成

補助率1／2(限度額25万円)

「加算制度」※上限額25万円

UJIターン世帯 工事費1／2 限度額20万円

45歳未満世帯 工事費1／2 限度額25万円

●対 象

・住戸専有面積が50㎡以上

●基 準

・金沢まちなか住宅再生バンクに掲載した空住戸

・売買契約後自己所有とし、居住すること

・昭和56年6月1日以降に建築された分譲マンション